

## 明後日、号砲

1学期末から練習に取り組んできた駅伝。いよいよ明後日、本番を迎えます。今年もコロナ対策として距離を短縮。女子は5区間全て2km(計10km)、男子は6区間全て3km(計18km)となりました。女子のスタートは11時、男子のスタートは13時となっています。南島原市、雲仙市、大村市の選手が諫早陸上競技場駅伝コースを懸命に駆け抜けます。本校生徒だけでなく、どの生徒にも練習の成果を十分に発揮してもらいたいと思います。

ところで、この「駅伝」は日本発祥のスポーツであり、世界各国でも「EKIDEN」として競技が行われていることは有名な話です。ただ、「なぜ駅伝と言うの?」と問われたら、「・・・???」という人がほとんどだと思います。そこで、さっそく調べてみました。



1917年に日本で最初の駅伝「東京奠都五十年奉祝東海道五十三次駅伝競走」を読売新聞社が主催した時に、神宮皇學館の武田千代三郎館長が命名。江戸時代の東海道五十三次では、街の宿駅ごとに「駅馬」と呼ばれる馬が配置されて、交通手段として使われていた。また、乗り継ぎ用の馬として「伝馬」というものが公用の旅行に使われたり、民間の輸送用として活躍したりしていた。この「駅馬」と「伝馬」からヒントを得て、長距離を走るリレーのことを「駅伝」と命名した。

## 3年に1度



本市では、3年に1度の割合で南島原市教育委員会による学校訪問が行われています。今年はその年に当たっており、先週の22日に教育委員会の皆様が来校され、授業の様子等を見ていただきました。総括指導において、「生徒が授業に臨む姿勢が良かった。」「校舎内外がよく整備されている。」「先生方がよく動いていらっしゃる。」等のお褒めの言葉や、「生徒に寄り添い、支える授業の推進をお願いしたい。」「学習用端末を、文房具の一つとして活用して欲しい。」等の助言をいただきました。

また、本校の課題の一つが「家庭学習の定着」。1学期末の学校評価は、保護者・職員の評価が2.7に対し生徒の自己評価は3.4。つまり、生徒の意識と実践をどう高めていくのかが課題なのですが、これについて、「重点化や焦点化を図り、評価の基準を明確にする必要がある。」との指摘もありました。2学期最初の職員会議でも、1年生「判断力をつける指導の強化と個別支援の充実」、2年生「表現力をつける指導の強化と時間を守ることの意識化」、3年生「受験に向けての指導の強化と整理整頓の徹底」を重点的に取り組んでいくよう共通理解を図りました。これらの改善に力を注ぎ、長所を更に伸ばす教育活動を推進していきたいと強く思った次第です。今年度も振り返しです。皆で、素晴らしい加中を築いていきたいと思います。